



日本最大水深のコンテナターミナルである南本牧ふ頭への
連絡道路の開通時期が決まりましたので、お知らせいたします。

南本牧ふ頭連絡臨港道路

平成29年3月 開通

南本牧ふ頭連絡臨港道路の施設名称の一般公募を実施します。

施設名称を決定するため、9月下旬より、関東地方整備局京浜港湾事務所
HPに専用Webサイトを掲載し、一般公募による施設名称の公募を開始します。

開通による効果

国際コンテナ戦略港湾である横浜港の南本牧ふ頭では、日本最大の水深18mの
コンテナターミナルの整備が進められています。

これまで南本牧ふ頭へのアクセスは1つしかなく、横浜港内のふ頭間の移動におい
ても一般道路を通らざるを得ないことから、渋滞の原因になるなどの課題があります。
今回、南本牧ふ頭連絡臨港道路の開通により以下の効果が期待できます。

- 南本牧ふ頭～本牧ふ頭間の輸送時間が約4割(5分)短縮されます。
- 南本牧ふ頭～首都高湾岸線へのアクセスが約7割(9分)短縮されます。

首都高横浜環状北線も平成29年3月に開通することと相まって、
物流コストの削減に伴い産業の国際競争力を強化するとともに、
横浜港背後への企業の立地環境改善につながります。

※ 開通日時及び開通式典の概要については、後日お知らせいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ
神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所

副所長 こばやし ひろゆき
小林 雅幸

横浜市港湾局 港湾物流部

物流企画課長 しんぼ やすひろ
新保 康裕

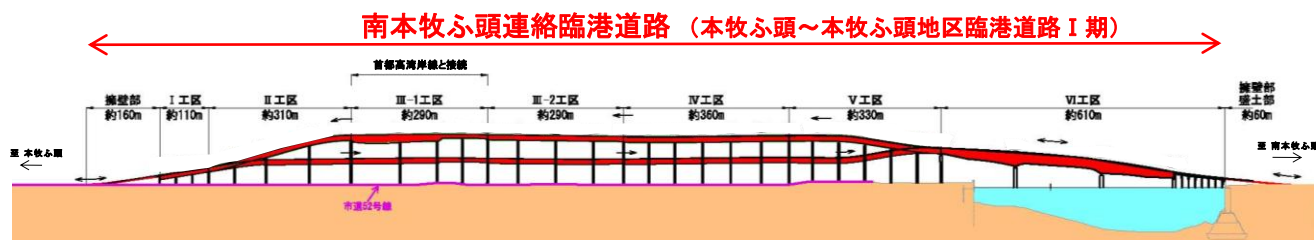
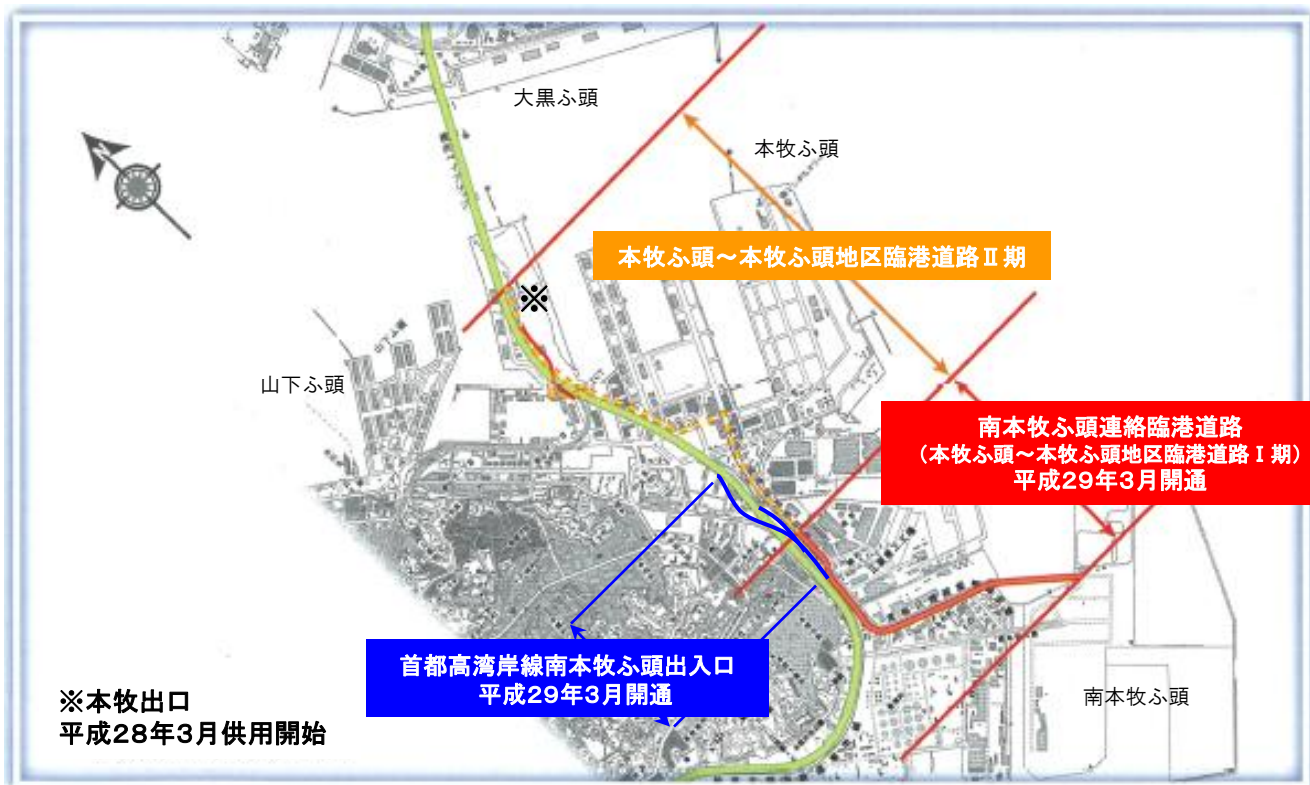
電話 045-226-3765

企画調整課長 ありじ りゅういち
有路 隆一

電話 045-671-2714

臨港道路の事業概要

横浜港において、大水深コンテナターミナルが集中する南本牧ふ頭～本牧ふ頭の円滑な連絡、南本牧ふ頭と首都高湾岸線の連結を目的とした臨港道路の整備を進めています。



臨港道路の事業概要

- 事業主体 国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所
- 事業区間 神奈川県横浜市中区南本牧ふ頭～本牧錦町
- 道路延長 約2.5km
- 道路規格 4種1級 2車線(片側1車線) 設計速度60km

南本牧ふ頭連絡臨港道路・南本牧ふ頭出入口の事業概要

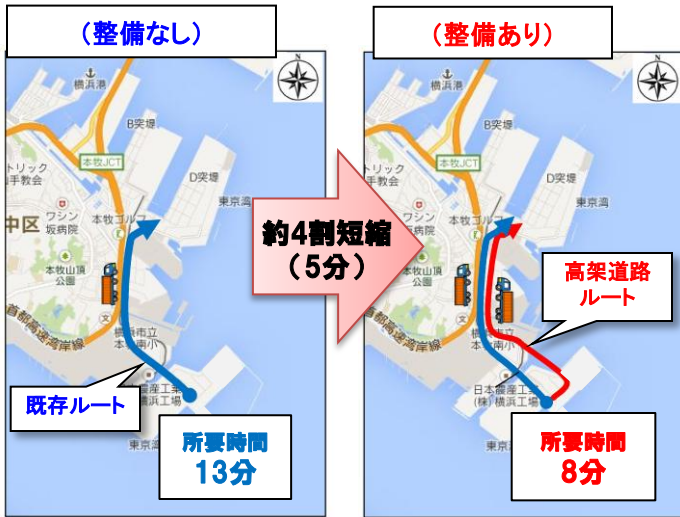
- 事業主体 横浜市 港湾局
- ランプ延長 約1.2km
- ランプ規格 A規格 2車線(片側1車線) 設計速度40km

臨港道路の整備効果

- ふ頭間の輸送時間の短縮により、物流コストの削減が図られます。
- 南本牧ふ頭と背後の高速道路ネットワークの連結により、内陸部との輸送効率化が図られます。

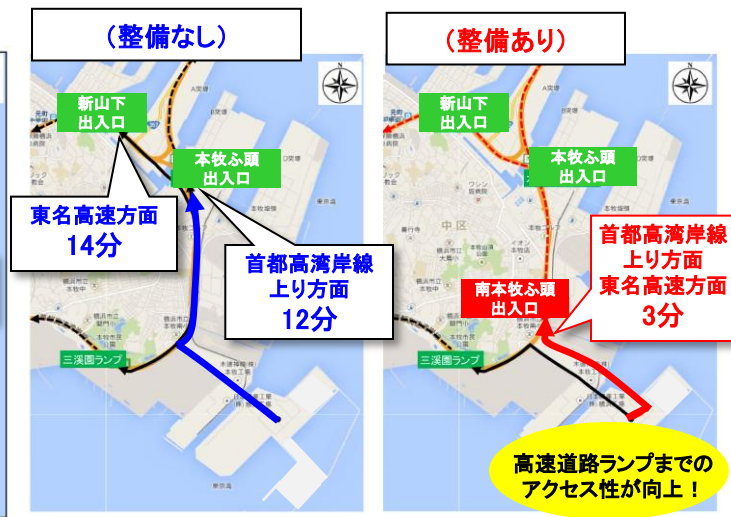
整備効果-① 輸送時間の短縮

南本牧ふ頭⇄本牧ふ頭の所要時間
13分 → 8分 約4割、5分短縮

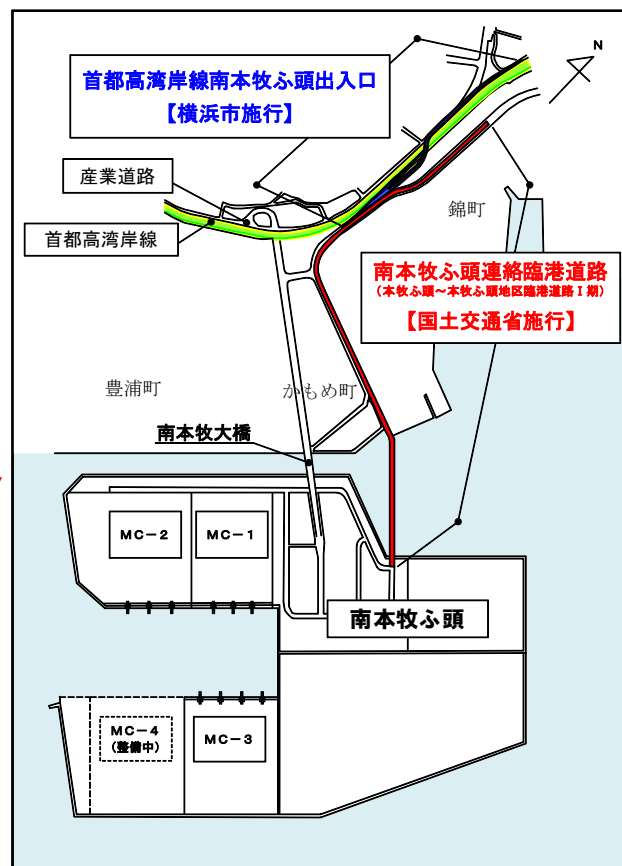


整備効果-② 高速道路へのアクセス改善

首都高湾岸線上り方面 12分 → 3分
東名高速方面 14分 → 3分



■ 首都高横浜環状北線も平成29年3月に開通することと相まって、物流コストの削減に伴い産業の国際競争力を強化するとともに、横浜港背後への企業の立地環境改善につながります。

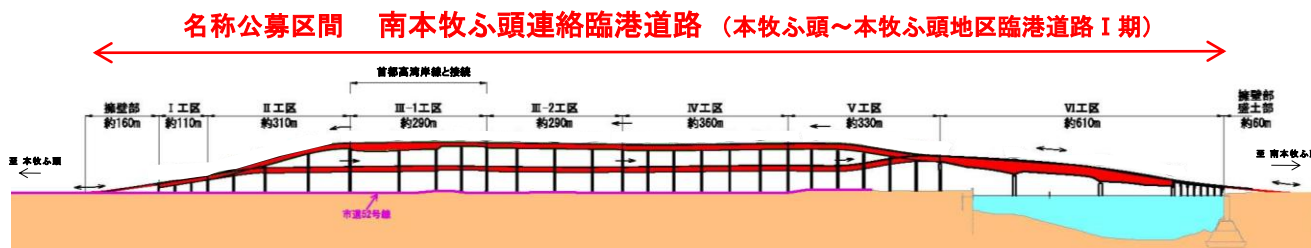


臨港道路 施設名称公募の事前告知

臨港道路の施設名称の一般公募を実施します。

施設名称を決定するため、9月下旬より、関東地方整備局京浜港湾事務所のホームページに専用Webサイトを掲載し、一般公募による施設名称の公募を開始します。

※ 詳細につきましては、9月下旬頃に発表いたします。



臨港道路の事業概要

- 事業主体 国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所
- 事業区間 神奈川県横浜市中区南本牧ふ頭～本牧錦町
- 道路延長 約2.5km
- 道路規格 4種1級 2車線(片側1車線) 設計速度60km